



A5判・上製本・320ページ／定価2,500円＋税  
ISBN978-4-86617-042-8

# 教育史研究の 最前線 II

## 創立60周年記念

教育史学会 ● 編

2018年  
5月刊行!

創立50周年を期して刊行された

「教育史研究の最前線」(2006年)刊行から10年。

学会創立60周年の記念出版として、

気鋭の研究者25名による最新の教育史研究の動向や課題を提示する

教育史研究の入門書第2弾!!

2000年以降に刊行された数百点に及ぶ教育関係図書を、

さまざまな角度から分類しテーマや領域を選定、

それらをもとに設定された全10章の論考は、

これからの教育史研究へ関わる研究者・学生への大いなる羅針盤として最適である。

はしがき

教育史学会は1956年5月3日に東京学芸大学で開催された創立大会によって発足し、2016年の同じ日に創立60周年を迎えた。本書はこの創立60周年を記念して編纂したものである。2006年の創立50周年を機に本学会は『教育史研究の最前線』を刊行した。今回のものはその続編の意味をもつが、編集方針に若干の変更を加えている。50周年の『教育史研究の最前線』では、教育学の各領域の現状や課題を検討したが、あえて萌芽的先端的な研究をも取り上げて、教育史研究の新しい展開の可能性にも論じた。「公教育と宗教」「教育における公共性」「身体と教育」「子ども・家族・教育関係の社会史」「教育のメディア史」「識字と読書」「モノ」「コト」と教育」といった章を立てたのは、その編纂趣旨によるものである。今回は、21世紀に入ってから現在までに刊行された「図書」を対象にして、教育史の研究動向を描くことを編纂の趣旨とした。1990年代頃から大学院での研究の成果をまとめて博士の学位を取得し、それを図書として刊行することが一般化している現状をふまえ、図書という形で表現された教育史研究の動向を捉えることにしたのである。本書の編纂にあたり、2000年以降に刊行された数百点にも及ぶ教育関係の図書のリストを作成し、それをさまざまな角度から分類し、それを章として立てることにした。このようにして設定された第1章から第3章までは日本固有のテーマによって立てた章である。本学会の会員に占める日本教育史研究の専攻者が増加した(かつては多かった西洋教育史の専攻者が減少した)結果として、日本関係の図書の刊行が圧倒的に多く、その結果として日本固有のテーマが多く浮上ることになった。

# 注文カード

帖合・貴店名

〈八木書店経由〉

注文数

ISBN978-4-86617-042-8

## 教育史研究の最前線II

創立60周年記念

定価●本体二、五〇〇円＋税

お名前

お電話番号

注文 年 月 日

●弊社は注文制です。お近くの書店へご注文ください。お急ぎの場合は小社に直接ご連絡ください。電話03(3296)8787

冊

発行 六花出版

編 教育史学会

Fax 03(3296)8788

電子メール info@rikka-press.jp

## 目次〈抄録〉・執筆者一覧

### 第1章—前近代日本教育史

- 第1節 古代・中世教育史 鈴木理恵(広島大学)
- 第2節 子ども史、地域教育史および識字などに関する研究 木村政伸(九州大学)
- 第3節 教育思想と藩校・私塾に関する研究 川村 肇(獨協大学)

### 第2章—日本の近代学校教育

- 第1節 教育制度政策史と教育の社会史 柏木 敦(大阪市立大学)
- 第2節 学校の設立と子どもの就学—教育の制度・政策を相対化する研究史 坂本紀子(北海道教育大学)
- 第3節 近代学校教育の相対化 宮坂朋幸(大阪商業大学)
- 第4節 新教育運動と戦時下の教育 清水康幸(青山学院女子短期大学)

### 第3章—戦後日本教育史

- 第1節 1950年代の教育行政史研究 米田俊彦(お茶の水女子大学)
- 第2節 地域に関する戦後教育史研究

### 第4章—東アジア植民地教育史

- 第1節 台湾植民地教育史 北村嘉恵(北海道大学)
- 第2節 朝鮮植民地教育史 佐野通夫(こども教育宝仙大学)
- 第3節 中国植民地教育史 新保敦子(早稲田大学)

### 第5章—ヨーロッパ教育史

- 第1節 「ヨーロッパ」の捉え直し 山名 淳(東京大学)
- 第2節 統治と保護への新たなまなざし
- 第3節 教養論の再興
- 第4節 構成物としての歴史と史実
- 第5節 意味世界の歴史を読み解く教育思想史

### 第6章—欧米の新教育

- 第1節 教育思想史研究 宮本健市郎(関西学院大学)
- 第2節 教育思想史から教育社会史へ
- 第3節 教育方法史・教科教育史
- 第4節 ナショナリズムと新教育

### 第7章—ジェンダーと教育

- 第1節 日本における近代教育とジェンダー 井上恵美子(フェリス学院大学)
- 第2節 東洋における近代教育とジェンダー 李 正連(東京大学)
- 第3節 西洋における近代教育とジェンダー 野々村淑子(九州大学)

### 第8章—高等教育史

- 第1節 西洋高等教育史研究の現状と展望 松浦良充(慶應義塾大学)
- 第2節 日本高等教育史研究の展開 吉川卓治(名古屋大学)
- 第3節 アジア高等教育史研究の展開 今井 航(別府大学)

### 第9章—教員史・教員養成史

- 第1節 日本教育史における教員史・教員養成史 山田恵吾(埼玉大学)
- 第2節 東洋教育史における教員史・教員養成史 一見真理子(国立教育政策研究所)
- 第3節 西洋教育史における教員養成史・教員史研究 渡邊隆信(神戸大学)

### 第10章—ナショナリズムと教育

- 第1節 日本におけるナショナリズムと教育 駒込 武(京都大学)
- 第2節 東洋(中国)におけるナショナリズムと教育 世良正浩(明治学院大学)
- 第3節 西洋におけるナショナリズムと教育 遠藤孝夫(岩手大学)

### 編集委員および各章編集担当者

- 委員長 米田俊彦 第3章担当 (お茶の水女子大学)
- 委員 大戸安弘 第1章担当 (放送大学)
- 清水康幸 第2・10章担当 (青山学院女子短期大学)
- 新保敦子 第4・8章担当 (早稲田大学)
- 山崎洋子 第5・6章担当 (福山平成大学)
- 小玉亮子 第7章担当 (お茶の水女子大学)
- 一見真理子 第9章担当 (国立教育政策研究所)



2017年度の大会会場(岡山大学)